

背景

Background

病院や施設における転倒・転落事故のうち、
約 80% がベッド周辺で発生している。



問題

Issue

起き上がる際に介助
を必要とする患者が、
ナースコールを押さ
ない / 押せない状況
もある。
患者に対する看護師の
数が少なく、気づけな
いことが多い。



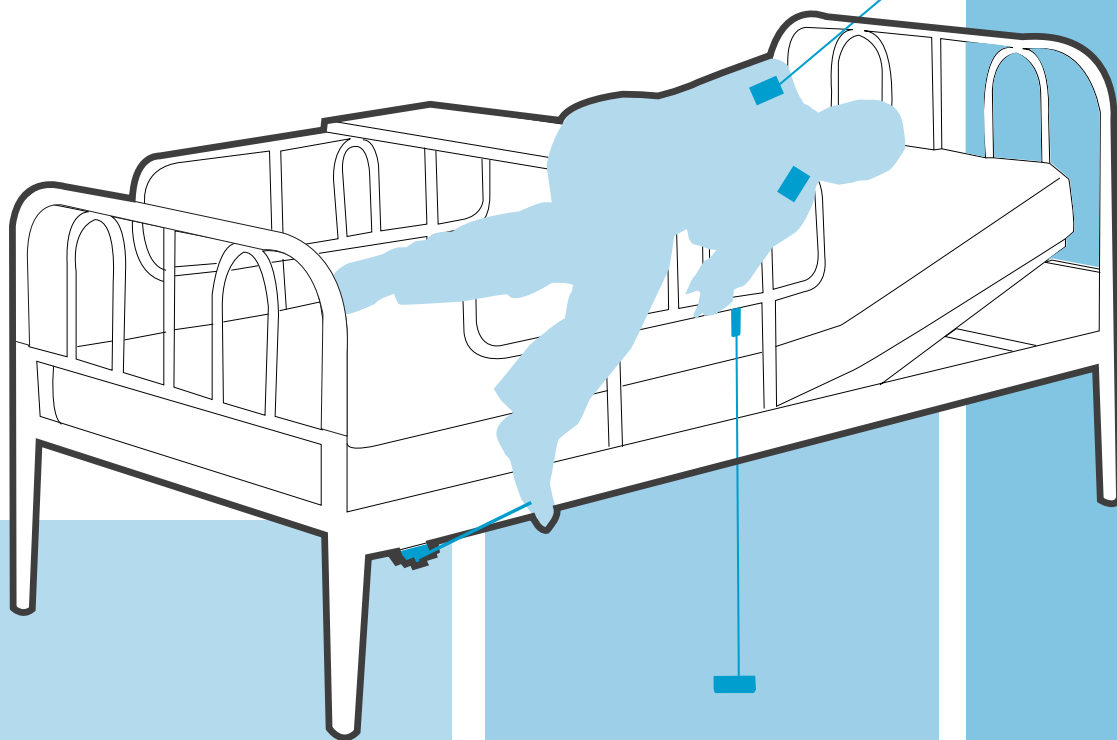
提案

Approach

ベッドから起き上がる、布団から足を出すなどの転倒・転落
につながる動作を 3つのセンサで感知し、看護師に知らせる
ことで、転倒・転落を未然に防ぐ。

コンセプト

転倒・転落を未然に防ぎ、安心・安全な入院環境をつくる



足元センサ

足元に距離センサを置く。
患者の足とセンサの距離が定めた
数値以下になったときに反応する。

手すりセンサ

手すりに光源をつけ、床に明る
さセンサを置く。
患者が手すりに体重をかけたと
きに光源がずれることによって、
起き上がろうとしていることを
感知する。

赤外線カメラ

患者の服などに複数個の LED を
つけ、赤外線カメラを設置する。
赤外線カメラが LED の光を検知
できなかったときに、患者が体を
起こしたと判断する。